

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌.....平成 25 年 1 月号

猿ヶ石川通信

Vol.1

第 1 面 トピックス	田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会合同部会開催
第 2 面 ニュースファイル	遠野市環境フォーラム、カルタ取り大会、森林講座、魚類調査報告
第 3 面 インタビュー	田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会会長：小田島峰雄さん、他
第 4 面 インフォメーション	雪遊び体験、猿ヶ石川流域セミナー、成島毘沙門周辺野鳥観察会、他

猿ヶ石川流域トピックス



合同部会ワークショップの様子。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会合同部会開催

猿ヶ石川テーマにワークショップ

岩手県立大学の辻盛生先生を講師に迎え

猿ヶ石川流域の水質改善に向けて協議行う

水質改善するために
私たちができること

「田瀬ダム水源地域ビジョン」は、田瀬ダム水源地域の活性化と猿ヶ石川上下流の連携を目的として平成 18 年 3 月に策定されました。また、ビジョンを推進するために猿ヶ石

川流域の自治体や関係団体により同ビジョンの推進協議会が平成 20 年に発足されています。

この協議会には、「自然環境保全部会」「地域資源活用部会」「人づくり・連携」という 3 つの部会があります。昨年 12 月 21 日に合同部会が開催され、岩手県立大学の辻盛生氏が「植物による水質浄化」について講演。その後 20 名の参加者が 4 つのグループに分かれ、「猿ヶ石川の水質や水辺環境」をテーマにワークショップ形式で、各団体が連携を図りながら共同で取り組めるプロジェクトについて協議しました。

水辺植物を活かし
水質の浄化ができる

講師を務めた辻盛生氏

は、前任地の小岩井農牧（株）時代から、長年植物を活かした水質浄化に取り組んでこられた方です。

講演では、田瀬湖や猿ヶ石川の水質データなどを紹介し、窒素やリンの排出負荷原因については岩手県全体として農地の割合が大きいことを指摘。その対策として、水辺植物を活用した緑化により、多くの生き物を育みながら水質を浄化する仕組みについて、多くの事例と共に説明。ハイブリット型人工湿地など最新の技術に、参加者は聞き入っていました。

ワークショップで
4 つのプロジェクト発表

講演後は、4 つのグループに分かれて、来年度の事業化に向けたワーク

ショップを行いました。

参加者は互いに自己紹介と事前に配布された「猿ヶ石川流域」に関するアンケートの内容を発表。その後、猿ヶ石川の水質や水辺環境を改善するための事業化に向けて協議を行いながら、プロジェクトを決めました。

その結果、1泊2日で親子を対象に、間伐体験や川での水生生物調査を行う「マイリバー猿ヶ石」。猿ヶ石川全般の調査を継続的に行う「自然豊かな川づくりのための河川環境調査」。川流れと自転車を活用する「猿ヶ石川トライアスロン大会」。源地地を調べる「石神水源プロジェクト」という特色ある 4 つの事業が発表されました。



グループで話し合われたことが発表された。

猿ヶ石川流域ニュースファイル

遠野市環境フォーラム

昨年12月23日(土)あえりあ遠野中ホールにて、「明日の遠野の環境を考えるフォーラム2012」が開催されました。

フォーラムでは、京都大学名誉教授の丹羽太貫氏が「放射線の健康への影響を理解しよう」という演題で基調講演。原発事故後に問題となつている放射線が、私たちの体にどのような影響があるのかを、多くの科学的なデータを元にお話しされ、約60名の参加者が熱心に聞き入っていました。

また、講演に先立ち、環境に関する標語やポスター、エコ工作の表彰。遠野の里山風景写真コンテスト、環境保全活動団体の



環境に関する標語の表彰式の様子。

表彰式も併せて行われました。

更に、遠野市内の活動事例発表として、遠野コロニーが、使用済みの天ぷら油を回収して燃料として活用している取り組みを紹介。更に、小中学生による研究も発表されました。

田瀬地区でカルタ大会 & 芸能発表会

成人の日である1月14日(月)、花巻市東和町田瀬地区にて、第19回目となる「田瀬ふるさとカルタ取り大会」が開催されました。

このカルタは田瀬小学校の創立20周年を記念して、当時の小学生が田瀬地域の名所旧跡などを中心に絵札と読み札を製作。田瀬地域の魅力溢れるカルタとなっています。



大人達も真剣!!勝負でカルタ取りです。

この日は、旧田瀬小学校の体育館を会場に、地区民約80名が参加。小さな子供から高齢者までが、時には笑い声が飛び交う中、カルタ取りを楽しみました。

また、この日の午後には、地域で初めての試みとなる「伝統芸能発表会」も開かれ、子ども達による「こども清流田瀬太鼓」や青年達の勇壮な「田瀬激流太鼓」。更に、「野金山かんながら鹿踊り」や「白土神楽」も披露されました。



太鼓の練習成果を発表する子供達。

森林ボランティア講座

昨年12月より、遠野市内において「遠野・山仕事はじめの一步(入門)講座」が始まっています。

この講座は、手入れが進まない間伐等の森林整備を促進するためには森林ボランティア等の育成が

不可欠と考え、初心者でも山の手入れができるようになるための技術と知識を身につけることを目的に今年6月まで毎月1回に開催されます。

講師は盛岡市を拠点に活動しているいわて森林再生研究会のベテランスタッフ。昨年12月の講座には、県内各地から20名が参加。実際に杉を植林している山林にて、健全な森づくりのための間伐する樹木の割合の計測方法や、チェーンソーの安全な使用方法などを学びました。



チェーンソーの安全な持ち方を学ぶ受講者。

猿ヶ石川魚類調査結果が報告される

岩手県南振興局花巻保健福祉環境センターが平成24年度の委託事業として、「猿ヶ石川流域の魚類

等生息調査」を実施しその結果が報告されました。

調査は、田瀬ダム上下流猿ヶ石川における現地調査の他、聞き取りと文献による調査が行われました。

その結果、猿ヶ石川には50種の魚類が生息し、その中の26種が移入種や放流により生息している種でした。また重要種として、スナヤツメ南方型、キンブナ、ゼニタナゴ、シナイモツゴ、ギバチ、メダカ南日本集団、カジカ(大卵型)、ハナカジカが報告されています。

尚、この調査結果については、委託受託者であるイーハトーブ里山水棲生物保存会が、2月21日開催の猿ヶ石川流域セミナーで詳細を報告します。



魚類調査の様子。(遠野市愛宕橋付近)

猿ヶ石川流域インタビュー



田瀬ダム水源地域ビジョン 推進協議会会長

小田 峰雄(おだしま みねお)さん

昭和 25 年東和町浮田地区で生まれ育つ。早稲田大学文学部卒業後、昭和 50 年より東和町役場に勤務。平成 6 年～9 年まで同役場助役。平成 10 年～平成 17 年まで7年間東和町長を務める。その間、平成 13 年～15 年に岩手県町村会政務調査委員長、平成 15 年～17 年に同会副会長。平成 10 年より猿ヶ石北部土地改良区理事、平成 17 年より現在まで同改良区理事長。また、平成 18 年 2 月より現在まで岩手県議会議員を務める。

田瀬湖は全国的に
脚光を浴びたんです

田瀬ダムは、昭和 16 年に着工して 29 年に完成した国直轄のダムとしては最も古いダムですよね。昭和 63 年には、レイクリゾート事業の第一号として、脚光を浴びた時代がありました。屋外ステージや釣り公園、ヨットハーバーもできて、視察者が全国から来ました。

B 級ではあるけど、ボート競技場もできて、流れや風がなく水深があるというところで、全国でも有名になった。大学のボート部の合宿地として、一時期は大変賑わいましたよ。更に、向かい田瀬地区



田瀬湖で開催されたインターハイボート競技。

にゴルフ場建設の計画もあったんです。結局中止となりましたが、今となっては良かったのかと思いませんね。

私が小学校の頃に
田瀬湖でエビを捕った

私は猿ヶ石川や田瀬湖には強い想いがありますよ。小学生の頃は、毎週日曜日の朝には猿ヶ石川に行つて、カジカ突きをしたもんです。あの頃はいつぱいいましたね。ウナギもけつこういて、4 本ヤスで突いて、ハキゴいつぱいに捕りましたよ。

田瀬湖にも自転車で行つて、杉の葉を束にして浮かべておいて、それを網ですくうと、5 cm くらいのエビがいっぱい捕れたんです。

あの頃は、川はかっこうの遊び場だった。水浴びして、時には川端の畑からウリやスイカを失敬したりしてね。今は、子ども達から川が遠ざかってしまった。

以前、都市農村交流として、川崎市の子供 80 名を田

瀬と成島地区の農家に 2 泊 3 日で泊めたんです。その時に、川遊びや木の実捕りなど昔の遊びをさせた。その時に、川で溺れたり、木から落ちて骨折する子供があった。その後、その中の子供の親から手紙が来たんです。

「うちの子は骨折したが、この企画は止めないで欲しい。こういう遊びを通して、社会に出て行く準備

をしたかった。」という内容だったんです。これは嬉しかったですね。もう担当者はビクビクしてたんですよ。

川やダム湖は子供達に生きる力を教える教材になり得る。これは、どこにもあるもんじやない。そのためにも、指導者が必ず。地元の子ども達にも、川で遊ぶワクワク感を体験させたいですね。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥



カルガモ(淡水ガモ類ガンカモ科 全長約 60 cm)

マガモと共に、猿ヶ石川でよく見られるカモの代表ともいえるカルガモ。他のカモと違って、オスとメスが同じ色。クチバシの先端が黄色で、足はオレンジ色。顔に 2 本の黒いラインがあるのが特徴です。(写真提供:とうわ野鳥の会)

猿ヶ石川流域インフォメーション

～2/末

スノーワンダーランドへようこそ…
雪遊び体験 開催中!!

今年の冬も厳しい寒さですが、雪国岩手にしかできない体験はなんと言っても雪遊び！北上川フィールドドライブクラブでは、20年ほど前から、子供達との雪遊び体験企画を実施しています。スノーモービルや3輪バギーで雪原を移動してのフィールド探検では、キツネやタヌキなどの野生動物の足跡などが見つかるかも。この他、ジープやトラクターでカヌーを引っ張り雪上を走る！雪合戦やかまくら作り。氷上ワカサギ釣り。親子連れ大歓迎。必ず事前に電話で予約ください。

- 【日時】平成 25 年 1 月 5 日～2 月末日
- 【時間】午前 10 時～正午または午後 1 時～3 時(2 時間)
- 【場所】花巻市十二丁目河川敷(南大橋下流)
- 【参加費】小学生以上 2,000 円/3 歳～小学生未満 1,000 円
- 【持ち物】雪遊びできる服装(防寒着、帽子、手袋、長靴)
- 【申し込み】北上川フィールドドライブクラブ
- ☎ 090-4476-5875(白畑)



雪上をカヌーで滑るのは気分爽快！

Q 水質の指標とされている BOD って何ですか？

川 豆 辞 典

A BOD とは Biochemical oxygen demand の略で、日本語では生物化学的酸素要求量と訳されます。水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものです。水の有機物汚染が大きければその有機物を栄養分とする微生物の活動も活発になり、微生物によって消費される酸素の量も増加します。従って、BOD が大きければ水中の有機物汚染が大きいことを示すため、水の有機物汚染の指標とされています。

里山の自然環境を共に考えよう！

2/21

猿ヶ石川流域セミナー 2013



昨年のセミナーでは花巻市矢沢地区におけるゼニタナゴの保護活動について発表されました。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会では、毎年 2 月に開催される総会と併せて、花巻・遠野流域協議会と共催にて「猿ヶ石川流域セミナー」を開催しています。今回のセミナーでは、岩手県立大学助教の齊藤正貴氏が「魚から見た川と田んぼのつながり」について講演する他、岩手県が委託して実施した「猿ヶ石川流域の魚類等生息調査」の報告も行われます。

- 【日時】平成 25 年 2 月 21 日(木)午後 2 時 30 分～午後 4 時
- 【集合】花巻市東和総合福祉センター会議室 【参加費】無料
- * 開催時間は推進協議会の総会終了後となります。
- * 参加希望者は事前にお申し込み下さい。
- 【申し込み】田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局
- ☎0198-64-2250(千葉)

2/17

素敵な出会いが待っているかも!?

毘沙門堂周辺の野鳥観察

花巻市東和町成島地区にある毘沙門堂周辺にて、野鳥観察会を行います。この周辺では、川にいる水辺の野鳥と野山にいる野鳥の両方が観察できます。毘沙門堂から一望できる猿ヶ石川や南成島地区の景色も素晴らしいです。もしかすると、希少種であるミヤマホオジロやヤマセミに出会えるかもしれません。寒くない服装でいらしてください。

- 【日時】平成 25 年 2 月 17 日(日)午前 8 時 30 分～正午
- 【集合】花巻市東和コミュニティセンター駐車場
- 【参加費】100 円(高校生以下無料)
- 【持ち物】防寒着、筆記具、双眼鏡(ある方)
- 【申し込み】とうわ野鳥の会
- ☎0198-42-4725(斎藤)



昨年は美しいオシドリが観察できました。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.1
「猿ヶ石川通信」平成 25 年 1 月号
発行日：平成 25 年 1 月 21 日
発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3
☎ 0198-44-5211
編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク
問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)
E-mail:pahaya@tonotv.com

この広報誌は、関係者だけではなく、広く一般市民の方に関心を持って頂きたいと考え、ご協力いただければ幸いです。
猿ヶ石川流域の連携が深まり、地域の活性化の一助になれば幸いです。(池田)

支所長のついで

昨年 4 月から田瀬ダム管理支所に参りました池田です。よろしくお願ひします。
この度、田瀬ダム水源地域ビジョンの大きな目的である、猿ヶ石川上下流の連携を図るため、「猿ヶ石川通信」を発刊する事になりました。